



## ごあいさつ

常務執行役員  
研究開発本部長 西川 公人  
Nishikawa Kimito

日頃は、当社製品・サービスをご愛顧賜りまして厚く御礼申し上げます。

日本政府の「2050年カーボンニュートラル」宣言や、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めるなど社会ニーズの変化が非常に読み難い中、日新電機グループは中長期計画「VISION2025」を策定し、2021年4月にスタートしました。

VISION2025では「SDGsへの貢献」を中核に据え、5つの事業基盤強化（モノづくり力の強化、生産性向上、サプライチェーンの多重化、人事戦略強化、働き方改革）を図りつつ、6つの成長戦略（環境配慮製品の拡大、分散型エネルギー対応、再生可能エネルギー対応、DXの製品・事業への適用、新興国環境対応需要の捕捉、EV拡大に伴う事業拡大）を掲げ、本年度にて2年目を迎えました。

昨年度は、ステークホルダーの皆様からのご指導・ご支援のお陰で売上高・利益とも前年度比 増収・増益となり、計画値も超過達成することができました。また、技術開発も計画通りに進捗し、VISION2025を順調にスタートすることができました。これは、当社の既存製品の根幹にあるコア技術や、さまざまな技術を組み合わせる特徴のある製品に仕上げるアセンブリ技術が大きく寄与したことが挙げられます。

これらの技術は、1910年創業からの電気計器・配電盤製品、および、コンデンサや変成器、遮断器などの特徴ある電力機器製品にはじまり、これらを融合・統合して監視制御する受変電システム製品、そして各種電力機器製品で培われた高電圧技術を応用展開したビーム・プラズマ応用製品、さらには電力機器製造で培った加工技術を発展させた装置部品受託生産事業など、これまでの製品開発や事業開発の中で生み出され、お客様からのさまざまな要望にお応えするために切磋琢磨を繰り返す中で蓄積してきたものです。近年、電力・環境システム事業分野においては、お客様に電力を安定供給するためのソリューションである「SPSS<sup>(\*)</sup>」、環境負荷の低減に寄与する環境配慮型変電所「ECSS<sup>(\*)</sup>」、再生可能エネルギーや蓄電池を活用した地域マイクログリッド対応システム、系統連系される大規模風力発電向け受変電設備などに注力し、研究開発を行っています。また、ビーム・プラズマ事業分野においては、次世代半導体や次世代基板FPD向けイオン注入装置や、ますます加速するEV化などに対応したDLC膜などを始め、さまざまな新製品を世の中に提供するとともに、新しい技術を蓄積し続けています。

本号では「日新電機グループの技術と展望」を特集し、当社独自の特徴あるコア技術やアセンブリ技術を活用した製品・技術の一例をご紹介しますとともに一般論文では最近の取組み状況を掲載しております。是非ともご高覧賜り、ご意見・ご指導を頂戴できれば幸甚でございます。最後になりましたが、ステークホルダー皆様の益々のご繁栄をお祈りし、巻頭のご挨拶とさせていただきます。

(\*) 「SPSS」は日新電機(株)の登録商標です。

(\*) 「ECSS」は日新電機(株)の登録商標です。